

平成27年度

学校評価アンケート資料

《教員・生徒・保護者》

大阪商業大学高等学校

平成27年度 『学校評価』 アンケート結果

(資料) 学校評価アンケート内容

※教員・生徒・保護者で表現が若干異なるが(主語の違い)、内容は下記となります

1. 学校の雰囲気がよい ----- <高校生活全体>
2. あいさつに溢れる学校である ----- <高校生活全体>
3. 自分のクラスが楽しいと感じている ----- <高校生活全体>
4. コースの取り組みには満足している ----- <高校生活全体>
5. 多様な資格取得ができるのでよい ----- <高校生活全体>
6. 本校の教員は教育熱心である ----- <高校生活全体>
7. 授業がわかりやすいと感じている ----- <学習>
8. 授業を意欲的に取り組んでいる ----- <学習>
9. 授業・模擬試験が進路に対応している ----- <進路指導>
10. 進路に必要な情報は適切に提供されている ----- <進路指導>
11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている ----- <生活指導>
12. 生徒に対する学校の規則は妥当である ----- <生活指導>
13. 生徒は学校の規則を守っている ----- <生活指導>
14. 生徒は生活指導について納得している ----- <生活指導>
15. 生徒の情報が保護者に適切に提供されている ----- <高校生活全体>
16. 学校行事は楽しく充実している ----- <行事>
17. 部活動は活発で充実している ----- <行事>
18. 校内の施設設備はよく整備されている ----- <その他>
19. 入学してよかった ----- <その他>

平成27年度 学校評価 資料

学校評価（生徒学年別）	学校評価（三者比較）
-------------	------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

1. 学校の雰囲気がよい					1. 学校の雰囲気がよい				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	25	44	19	12	保護者	36	55	7	2
第1学年	24	44	19	12	教員(男)	3	49	42	6
第2学年	24	49	17	10	教員(女)	13	62	25	0
第3学年	26	40	21	14	生徒(男)	27	43	16	14
					生徒(女)	18	47	27	9

2. あいさつに溢れる学校である					2. あいさつに溢れる学校である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	20	35	29	16	保護者	26	54	18	2
第1学年	20	37	28	14	教員(男)	10	53	34	3
第2学年	17	36	32	15	教員(女)	13	37	50	0
第3学年	22	33	26	18	生徒(男)	22	34	26	17
					生徒(女)	15	38	34	13

3. 自分のクラスが楽しいと感じている					3. (生徒は) 自分のクラスが楽しいと感じている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	44	37	12	7	保護者	38	45	15	5
第1学年	48	33	13	6	教員(男)	7	65	28	0
第2学年	43	42	11	4	教員(女)	13	75	12	0
第3学年	40	36	13	11	生徒(男)	46	35	12	7
					生徒(女)	39	41	14	6

4. コースの取り組みには満足している ※1参照					4. コースの取り組みには満足している ※1参照				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	33	43	14	10	保護者	33	54	11	3
第1学年	36	39	14	11	教員(男)	0	45	52	3
第2学年	34	48	11	6	教員(女)	13	75	12	0
第3学年	29	42	18	11	生徒(男)	35	42	13	10
					生徒(女)	28	46	17	9

学校評価（生徒学年別）					学校評価（三者比較）				
-------------	--	--	--	--	------------	--	--	--	--

① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない

5. 多様な資格取得ができるのでよい					5. 多様な資格取得ができるのでよい				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	36	41	15	8	保護者	35	49	14	2
第1学年	42	37	15	6	教員(男)	21	52	27	0
第2学年	34	45	13	8	教員(女)	13	75	12	0
第3学年	30	41	18	11	生徒(男)	36	40	15	9
					生徒(女)	34	44	15	7

6. 本校の教員は教育熱心である					6. 本校の教員は教育熱心である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	23	43	23	12	保護者	32	52	12	3
第1学年	25	41	20	13	教員(男)	17	48	28	7
第2学年	18	48	23	10	教員(女)	13	50	25	12
第3学年	24	38	25	13	生徒(男)	25	42	21	12
					生徒(女)	16	44	28	11

7. 授業がわかりやすいと感じている					7. 授業がわかりやすいと感じている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	21	48	22	9	保護者	10	58	26	6
第1学年	25	50	18	8	教員(男)	0	38	59	3
第2学年	19	54	20	7	教員(女)	0	63	37	0
第3学年	18	40	30	12	生徒(男)	24	46	20	10
					生徒(女)	14	52	28	6

8. 授業を意欲的に取り組んでいる					8. (生徒は) 授業を意欲的に取り組んでいる				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	24	46	23	7	保護者	21	48	27	6
第1学年	26	44	23	7	教員(男)	0	17	59	24
第2学年	25	50	20	4	教員(女)	0	37	50	13
第3学年	21	44	25	11	生徒(男)	26	44	22	7
					生徒(女)	19	49	25	7

学校評価（生徒学年別）					学校評価（三者比較）				
-------------	--	--	--	--	------------	--	--	--	--

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

9. 授業・模擬試験が進路に対応している					9. 授業・模擬試験が進路に対応している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	21	48	22	9	保護者	13	61	20	4
第1学年	24	49	19	8	教員(男)	3	14	76	7
第2学年	18	55	22	5	教員(女)	0	29	29	42
第3学年	21	41	24	14	生徒(男)	24	45	21	10
					生徒(女)	14	56	24	7

10. 進路に必要な情報は適切に提供されている					10. 進路に必要な情報は適切に提供されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	28	48	18	7	保護者	19	53	22	6
第1学年	30	46	18	7	教員(男)	10	45	38	7
第2学年	27	54	16	4	教員(女)	15	28	42	15
第3学年	27	44	19	10	生徒(男)	31	46	16	7
					生徒(女)	20	53	20	6

11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている					11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	29	42	19	10	保護者	30	53	11	5
第1学年	32	37	20	11	教員(男)	17	72	8	3
第2学年	27	47	19	8	教員(女)	0	87	13	0
第3学年	28	43	17	12	生徒(男)	32	42	17	10
					生徒(女)	22	43	23	12

12. 生徒に対する学校の規則は妥当である					12. 生徒に対する学校の規則は妥当である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	28	39	21	12	保護者	36	51	10	4
第1学年	30	36	23	11	教員(男)	17	59	17	7
第2学年	28	46	18	8	教員(女)	38	50	12	0
第3学年	26	36	22	12	生徒(男)	32	39	18	11
					生徒(女)	19	39	29	12

学校評価（生徒学年別）					学校評価（三者比較）				
-------------	--	--	--	--	------------	--	--	--	--

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

13. 生徒は学校の規則を守っている					13. 生徒は学校の規則を守っている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	20	37	25	18	保護者	55	38	5	2
第1学年	22	36	26	17	教員(男)	0	28	55	17
第2学年	18	41	23	18	教員(女)	0	13	75	12
第3学年	20	34	27	19	生徒(男)	23	35	24	18
					生徒(女)	13	41	28	18

14. 生徒は生活指導について納得している					14. 生徒は生活指導について納得している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	26	37	20	16	保護者	38	49	8	5
第1学年	31	35	20	14	教員(男)	0	41	48	11
第2学年	24	42	19	14	教員(女)	13	62	25	0
第3学年	23	34	22	20	生徒(男)	30	37	16	16
					生徒(女)	16	37	31	17

15. 生徒の情報が保護者に適切に提供されている					15. 生徒の情報が保護者に適切に提供されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	40	43	11	6	保護者	27	55	15	4
第1学年	42	40	11	7	教員(男)	17	52	28	3
第2学年	42	45	9	4	教員(女)	14	71	15	0
第3学年	36	44	14	6	生徒(男)	42	42	10	6
					生徒(女)	35	46	15	4

16. 学校行事は楽しく充実している					16. 学校行事は楽しく充実している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	33	40	16	11	保護者	32	51	15	3
第1学年	36	36	18	10	教員(男)	0	69	28	3
第2学年	33	47	13	6	教員(女)	0	63	37	0
第3学年	30	37	17	15	生徒(男)	35	39	14	12
					生徒(女)	29	43	21	7

学校評価（生徒学年別）					学校評価（三者比較）				
①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない									
17. 部活動は活発で充実している					17. 部活動は活発で充実している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	35	40	14	12	保護者	34	44	8	9
第1学年	36	32	14	17	教員(男)	10	63	17	10
第2学年	35	46	12	6	教員(女)	13	50	37	0
第3学年	33	41	14	11	生徒(男)	38	36	12	13
					生徒(女)	27	48	16	7

18. 校内の施設設備はよく整備されている					18. 校内の施設設備はよく整備されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	20	33	23	24	保護者	25	56	14	6
第1学年	19	29	21	31	教員(男)	0	10	28	62
第2学年	20	37	21	22	教員(女)	0	13	13	74
第3学年	20	34	26	20	生徒(男)	21	32	21	26
					生徒(女)	17	37	26	20

19. 入学してよかった					19. (生徒は) 入学して(させて)よかった				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	28	41	17	14	保護者	47	43	8	3
第1学年	30	36	18	16	教員(男)	0	82	18	0
第2学年	26	45	17	12	教員(女)	13	87	0	0
第3学年	28	42	15	15	生徒(男)	29	40	15	16
					生徒(女)	24	42	22	11

※1 「コースの取り組みに満足している」コース別 比較

4. コースの取り組みに満足している												
	1年				2年				3年			
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
グローバル商大	30	52	31	19	31	52	12	5	31	40	18	11
文理進学	29	35	8	27	26	29	20	26	31	42	19	8
スポーツ専修	69	28	0	3	54	40	6	0	データなし			
デザイン美術	67	29	0	4	44	44	6	6	16	63	21	0

平成27年度 「学校評価」 アンケート結果

◇高校生活全般について（Q1-6）

「学校の雰囲気について」の質問に対して、生徒・保護者は概ね肯定的な回答であるが、教員のみが否定的な回答の率が高くなっている。もっと良いものにしたいという意識の表れであると考えられる。

「あいさつに溢れる学校」については、数年前から目標として掲げ取り組んでいるものの、全体的に肯定的な回答の数値が低い。生徒・教員が一体となつてのあいさつ運動の強化が必要である。

学校生活の根幹となっている「クラス活動」については、概ね肯定的な回答が出されていることは評価できる。クラス活動を豊かなものにするという生徒たちの考えと、学級担任の努力の結果と言える。

「コースの取り組み」についてはグローバル・スポーツ・デザインの評価は3カ年通じて高いが、文理については1～2年の評価は低い。ただし3年の評価は向上しており、学力がついたことへの感謝の表れが出ているのではないかと。

「資格取得の多様性」「教員の教育熱心」についても概ね肯定的な回答が出ている。さらにその数値が上がるように、学校として努力を継続する必要がある。

◇学習について（Q7-8）

「授業のわかりやすさ」について、生徒の肯定的回答が7割を占めているが、3年において否定的回答が3割に達していることは問題視する必要がある。学習内容の難しさであるのか、教授法の問題なのか、生徒自身の学習に対するモチベーションの問題であるのか、リサーチしていく必要がある。保護者の数値は概ね生徒と同じであるが、教員の数値は否定的な回答に偏っている。自らの教授法の現状に満足していない意識の表れと分析したい。

「授業への意欲的な取り組み」は生徒・保護者と比較して、教員の意見が厳しいものとなっている。学習到達度への努力がまだまだ必要であるという意識の表れであろう。

◇進路指導について（Q9-10）

「授業・模擬試験の進路への対応」「進路情報の提供」について、生徒の回答は概ね良好であるが、教員の回答は否定的なものが多い。ここ近年、『安易な進路選択はさせない』という取り組みを進路指導部を中心に取り組んでおり、一定の成果も出ている。生徒・保護者に向けて、さらに情報を提供し、選択肢を広げるために指導を強化したいという気持ちの表れであると分析できる。

◇生活指導について（Q11-14）

「教員は悩みを親身になって聞いてくれる」は三者（生徒・保護者・教員）ともに肯定的回答が大部分を占めている。日ごろのきめ細やかな教育活動の成果であると評価できる。「学校の規則の妥当性」については、女子の回答で否定的なものが目立つ結果となった。学年間で統一した指導が必要であろう。

「生徒が規則を守っている」および「生徒は生活指導に納得している」に関しては、保護者以外の二者（生徒・教員）で否定的回答が目立つ。『校則はしっかり守らせるべきだ』という生徒の訴えと位置づけて、さらに生活指導を徹底する必要がある。

◇高校生活全般・行事・その他について（Q15-19）

「生徒の情報が保護者に適切に提供されている」については概ね肯定的回答を得た。以前は連絡文が保

護者に届かないことが多々あったが、近年は“友達親子化”もあるのか、学校での状況が家庭に伝わっており、また担任のきめ細やかな連絡なども肯定的な要因であると言える。「学校行事」「部活動」についても肯定的回答が多数を占めた。有意義な高校生活を過ごしていくために大事な要素であるので、さらにその数値を伸ばしていくために、生徒自治会を中心に取り組んでいく。

「校内施設設備」については、否定的な回答が目立つ結果となった。特にスポーツ専修コースにおいて校内施設（＝部活動施設）が充実していないことに対する意見が多かった。

最後の質問である「入学して（させて）よかった」については、概ね肯定的意見が多数を占めている。しかし『どちらかといえばそう思う』が大半であり、『そう思う』が大半を占めるよう、また最終学年の第3学年の数値が向上するよう目指さなければならない。

◎まとめ◎

三者間で大きく内容が異なるものは、比較的少なく、基本的には同じような傾向が出ていたと思われる。

『学校が楽しい』『先生は教育熱心』など日頃の教育活動が実を結んでいるものもあるが、『生活指導』においてはまだまだ教員・生徒ともに意識を変えていく必要性が急務である。

『施設設備』に関して、改善を継続して訴えていく必要はあるが、現存施設を大切に、有効に使用していくことが必須である。

平成 28 年 3 月 26 日 (土)
午前 10:00～11:30
議長 阪口耕次
書記 野村洋佑

学校評価委員会議録

1. 学校長 挨拶

・平成 27 年度、「学校評価アンケート資料」について、小守より説明の上、教員・保護者・生徒アンケートについて意見を述べてもらった。

2. 参加者 紹介

商大高校（教員） 堀井、阪口、西田、小守、入口、脇谷、佐藤、酒井克、野村
（生徒） 生徒自治会役員（2人）
大阪商業大学 佐野、田畑
PTA 熊谷、新谷

3. 「平成 27 年度 学校評価アンケート資料」についての説明

● 高校生活全般について

- ・学校の雰囲気（男性教員が否定的な意見がみられる。）
- ・あいさつ（以前よりも積極的にあいさつする生徒、教員が少なくなっている。）
- ・各コースの取り組み（グローバル・スポーツ・デザインの評価は高い。文理に関して、1、2 年の評価が他と比べて低い、3 年の評価が向上している。進路が決まったことへの感謝の表れとみられる。）

● 学習について

- ・授業のわかりやすさ（3 年の生徒と教員が否定的な意見がみられる。）
- ・授業、模試が進路に対応している（教員が否定的な意見を述べている。原因としては、学校側から出す進路に関するデータが少ないため、教員に十分な進路の情報を与えられていないのではないかとみられる。）

● 生活指導について

- ・大半の人が生活指導の規則に肯定的な意見を述べている。
- ・学校の規則の妥当性（保護者は肯定的な意見、生徒・教員は否定的な意見が少しみられる。特に女子生徒に関しては否定意見が多かった。学校側としては、規則を守らない生徒を指導することよりも、規則を守っている生徒をどうケアしていくのかに重点を置かなければならない。）

● 高校生活全般・行事・その他について

- ・保護者の情報認識（保護者は肯定的な意見が多かった。その理由としては、担任が保護者に電話連絡をしっかりと行っているためにこのような結果になったことが考えられる。また近年、親子の仲がいい“友達親子化”が原因で、家で生徒が親に学校の話をよくしているのではないのかということも考えられる。）
- ・学校の設備（全体的に否定的な意見、特にスポーツコースでは、部活動設備が充実していないなどの意見が多く述べられた。）

4. 意見交換

● 生徒

- ・あいさつに関して、授業の最初と最後のあいさつができていないが、廊下で教員とすれ違った時にはあいさつができています。
- ・生活指導の規則に否定な意見が多かった女子生徒は、スカートの丈に関する指導に一番納得がいかな

いという意見を言っている。

- ・食堂に券売機の数を増やしてほしい。
- ・授業で、テスト前に試験範囲を変更することや範囲に間に合わず急ぎ足で授業を進めるのは止めてほしい。

●保護者

- ・あいさつの数が年々減少してきている。普段の学校生活の慣れが原因かも知れない。
→ 生徒にあいさつをさせる指導ではなく、教員から生徒に積極的にあいさつを行っていくべきだ。
- ・担任の先生から電話などを通して情報を頂けるのはとてもありがたい。
- ・クラブに関して、設備の問題や顧問の不在などで生徒から不満が多い。また、クラブを辞めた生徒が別のクラブに入るようにするためにはどうすればよいか。
→ 学校の設備に関して、建て替えは無理だがリフォームは徐々に行う予定。

●教員

- ・学園祭に関して、生徒が楽しむ前に教員も生徒と楽しむべきではないか。生徒は教員を見ているので、楽しんでいない教員を生徒がみたら生徒も楽しめなくなるのではないか。
→ 体育祭、校内大会で、教員が参加できるような企画を作るのはどうか。
- ・クラスが楽しい生徒が 8 割に対し、入学して良かったと言う生徒が 7 割であるのはなぜか。
→ 日々の充実感が影響するのではないか。進路が明確に決まるだけでは「入学して良かった」と思う生徒は増えない。

●大学

- ・惰性で商大に入学する商大高校の生徒は他の学生と比べてあまり良くない。高校で何か生徒に夢を持たせるようなカリキュラムを入れてみてはどうだろうか。

5.まとめ

この結果はあくまでも数値上での結果であり、その上での考察しかできない。年間を通してこの会議